

平成24年度「大気環境保全活動功労者表彰」受賞者一覧(敬称略)

推薦者	団体	個人	主な功績
富山県		カワカミ トモリ 川上 智規	平成11年より富山県環境審議会大気騒音振動専門部会の専門員を務め、大気環境に関する有識者として、全国で唯一の全県域を対象とした大気環境保全に関する行政計画「富山県大気環境計画(ブルースカイ計画)」の改定、効率的・効果的な大気汚染測定網の整備を目的とした「大気汚染常時観測局適正配置計画」の策定に尽力し、地域特性に応じた同県の大気保全施策の確立に尽力するなど、大気汚染の防止に関わる活動に従事し、大気環境保全に多大な貢献をした。
京都府		ヒオキ タダシ 日置 正	昭和54年より京都府職員として、大気エアロゾル成分の粒径別長時間分解能観測手法の開発と、無機元素濃度比を指標とした黄砂及び人為起源エアロゾルの越境輸送に関する研究において、顕著な成果をあげるとともに、地方環境研究所における微小粒子状物質研究をリードした。また、環境省の微小粒子状物質成分分析に係る各種検討会に参画するとともに、環境調査研修所大気分析研修の講師として、大気エアロゾル観測技術の普及に努めるなど、大気環境の保全に関する研究開発に従事し、顕著な功績をあげた。
大阪府		イワサキ サタロウ 岩崎 佐太郎	昭和42年より大阪府職員として大気環境保全行政に従事し、国に先駆けて窒素酸化物総量規制を導入した大阪府大気清浄化計画(昭和48年)、大阪府環境総合計画(STEP21)(昭和57年)の実施計画にあたる大気さわやか計画等の策定に尽力し、平成12年度からは環境農林水産部環境指導室長として公害防止条例から生活環境保全条例への改正を指揮するなど、大気汚染防止に関わる活動に従事し、大気環境の保全に多大な貢献をした。
福岡県		ヤマダ タカト 山田 隆斗	昭和47年より大牟田市職員として大気環境保全行政に従事し、同市が総量規制指定地域となるにあたっては、総量規制基準導入に係る対象工場の排出量調査のとりまとめ等において業務の中心を担うなど、市職員の中心となって公害対策、環境保全に尽力し、同市の大気環境の改善に貢献した。また、カドミウムによる農用地汚染対策における大気中粉じんの測定監視やフッ素被害の調査および対策を実施し、対象工場との協定締結に尽力するなど、大気汚染防止に関わる活動に従事し、大気環境の保全に多大な貢献をした。
大分県		ササキ キヨシ 佐々木 清	昭和46年より大分県職員として大気環境保全行政に従事し、公害防止条例の大気規制基準や大分地域硫酸化物総量削減計画策定を通じて、大分県の大気環境の改善と未然防止に尽力した。また、企業や大規模工場との公害防止協定の締結に取り組み、大気汚染物質の大幅削減を通じて、大気環境の改善に寄与するなど、大気汚染防止に関わる活動に従事し、大気環境の保全に多大な貢献をした。
鹿児島県		ホウライ シュンイチ 寶来 俊一	昭和49年より鹿児島県職員として大気環境保全行政に従事し、大気汚染常時監視網の整備に着手し、新大隅総合開発時の大気常時監視、桜島火山由来の大気汚染監視測定、粒子状物質の分析、酸性雨測定などに尽力した。また悪臭対策については、現在、多くの自治体で採用されている臭気強度規制には不可欠な3点式臭袋法による官能試験の研究や低級脂肪酸の分析法に係る調査・研究に従事するなど、大気汚染防止に関わる活動に従事し、大気環境の保全に多大な貢献をした。

団体 0

個人 6

合計 6